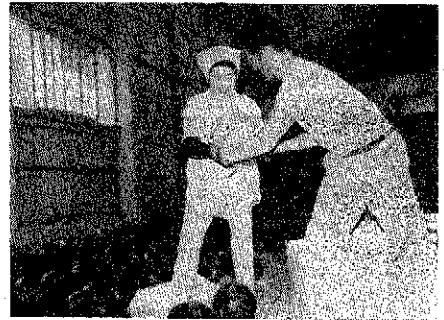




写真 ニュース

歯を守る町民のつどい

6月4日午後1時30分から鶴協ビルで、歯を守る町民のつどいが開かれました。つどいには保母さんなど100人が参加し、白石歯科医さんとの話し合いでは、むし歯は多いといわれるだけに質問もボンボンとび出し、真剣にメモをとっていました。



初出荷に、農家の顔も明るく、

歯みがき指導を受ける参加者



元気いっぱいママさん選手

ママさん選手奮戦

六月十日巻小学校で、ママさん選手と青年のバレーボール試合が行なわれました。この日は巻のママさん選手が青年を相手に「ハイ」「フット」のかけ声とともに元気いっぱいプレーし、近く予定されている町婦人バレーボール大会にむけて汗を流しました。

スイカの出荷はじまる

町農協四ツ郷屋支所でスイカの出荷がはじまりました。三月末に植え付け、ピニールハウスで育ててきたもので、品種は早生日章と早生日章A号です。支所の倉庫に集められたスイカは、ダンボールにつめられ一箱(三、四個入り)二千円前後で、三条、新潟、長岡などの市場へ出荷され、北海道や関西などへ送り出されます。

新刊書の案内

公民館では新刊書を購入しましたので、ご利用ください。新刊書は利用が多いため貸し出しは一人一冊で、期限は十日以内です。なお、図書貸し出しは午前九時から午後五時までで、日曜日や祝祭日は宿直の職員に申し出てくださいます。

公民館図書のご利用を

新刊書は次のとおりです。黒崎鶴湖事件(江戸川乱歩) たんぼ(川端康成) 喪失(福田章二) 骨肉(黒い車) 喪失の機(成) 運(源氏鶏太) 冬の神士(大仏次郎) 内務夫人(五木寛之) 読者の審り(大江健三郎) 星のなき街路(北村寿夫) わたしが棄てた女(越後つた) 情学(倉藤周作) 越後つた(い) 親不知(風見貞子) 女たち(中山あけ子) 救世の堤(池田正太郎) 敵さまの独白(池田正太郎) 敵さまの独白(山手樹一郎) 12の結婚(森村桂)

若い母親大学を開設

三歳児のしつけを学ぶ

幼児教育が重要視されているおり、巻町・湯東村教育委員会と保健衛生課は三歳児をもつ母親を対象に六月から「若い母親大学」を開設しました。これは、三つ子の魂百までもといわれるように三歳児のしつけや指導が、人間の成長段階で子どもの性格づくりのうえで大きな影響を与える重要な時期であることから、よい子どもを育てるために母親はどうしたらよいかを学ぶ機会を設けたいと、六月二十一日に開設式を行いました。「よい子を育てるために」と題して県社会教育主事恩田久美さんから話を聞きました。

あなたは 今月で70歳 老齢福祉年金が 請求できます

あなたは六月の誕生日で満七十歳になられ、老齢福祉年金を請求する資格を得られました。住民課(東六区) 斎藤貞次郎(大野、下原) 斎藤貞次郎(伏部) 源吉知(伏部) お願いです。あなたには、所得の制限、公的年金を受けていると認めないこともありません。今年度の請求は、石橋三郎(福島)、藤田年恵(角田)、田邊ハル(丸根)、鈴木一(東六区) (九区) 斎藤貞次郎(大野、下原) 斎藤貞次郎(伏部) 源吉知(伏部) お願いです。

農業の道しるべ



反省

西村欣策

いまでは、そのまわりも反省のいるいな声がかかれています。なかでも、夜の花木市場の雑踏は身うごきもななくなりました。ある植木屋の店先で、「たいした繁盛ぶりだね」と話しかけると、「高いものがどんどん売れていくのに驚いた」と、いっていました。一株七万円のつつじが、荷をおろしたとたん売れていったという。現在の住宅ブームの中での笑いのとまらない話であるが、その中で聞きおとしはならないことがあった。「農家の金を、ぜんぶ取りあげるのではないかなにか縮んでいくぞ」といって、

保健衛生のご案内

日本脳炎

対象3歳以上で希望者、保育園児は各施設で実施

Table with columns: 会場, 対象地区, 回数, 日, 時間, 料金. Includes entries for 松野小学校 and 役場分室.

乳児検診

Table with columns: 月日, 会場, 時間, 対象児. Includes entries for 公民館, 分室, and 絆中.

ツベルクリン

対象 生後6か月以上、未就学児全員 (ただし、幼稚園、保育園児は実施済)

Table with columns: 会場, 対象地区, ツベルクリン接種日, ツベルクリン判定日, BCG日, 時間. Includes entries for 松野小学校 and 役場分室.

3歳児検診

Table with columns: 月日, 会場, 時間, 対象児. Includes entries for 分室, 公民館, 山室, 絆中, and 松野小学校.

歯の病気の予防と管理 ふえる虫歯 歯科医師会理事長 白石敏彦

昭和四十四年に厚生省が行った歯科疾患実態調査の結果によると、五歳から十四歳までの全国の子どもの中で九六・二パーセントが虫歯を持っていました。これはほとんどの子どもが虫歯を持っていないことになり、そのうえ一人当たりの虫歯の数も年々多くなってきています。歯を失うおそれのある虫歯は、おとなの虫歯に比べると、歯が柔らかいので、歯が加わります。ですから全国民の持っている歯の病気の数は、今よりも多くなるので、これを未然に防ぐことが、今よりも重要になってきています。そのため、この歯科医師会も治療を受けたいと希望する方、ないという状態になりつつあり、その傾向は今後さらに深刻になることが予想されます。これからは、かけがえのないたいせつな歯を病気に侵され、はたして失うことのないよう、正しい歯のケア、よいとわかつたことはすぐ実行にうつすよう心がけてください。